

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

すべての人に働くよろこびを。日本一親身な人材サービスカンパニーをめざし、多様な就業機会を提供

売上高
47,066百万円

営業利益
3,026百万円

営業利益率
6.4%

成長率
5%程度

2 中長期の経営戦略

1. BPO関連事業の拡大

地方自治体向けを中心に事業地域・業務領域のダブル広域化、官公庁のみならず民間企業からの受注拡大を推進

2. 製造系事業の強化

営業拠点拡充による新規取引先開拓を積極的に推進し受注拡大を図る

3. 事業ポートフォリオ見直し

新規事業開発投資、インフラ整備、高スキル人材採用などに積極的に投資を実施

4. 拠点網の充実と要員増強

支店・営業所・BPOセンター等の拠点網を機動的に充実させ、各拠点に必要な人材を適時配置

3 対処すべき課題

① 中期経営計画の推進

- ・ 2026年3月期から2028年3月期の3年間で年平均5%程度の成長を計画
- ・ BPO関連事業部門の地方自治体取引拡大に注力
- ・ 2期連続減収減益を踏まえ事業ポートフォリオ見直しに着手

② 経営基盤の強化

- ・ 優秀な人材採用と教育研修制度充実による育成に注力
- ・ 働き方改革推進と人事制度の充実を図る
- ・ 組織体制を機動的に組成し経営管理体制を強化

③ コンプライアンス徹底

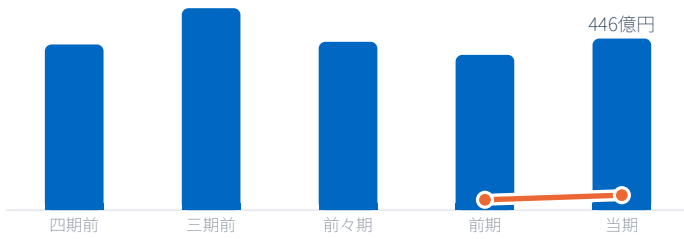
- ・ 労働基準法等関連法令遵守を基本に位置づけ
- ・ 代表取締役社長委員長のコンプライアンス委員会を毎月開催
- ・ コンプライアンス体制の実効性確保に向け適切な運営を継続

面接で使えるポイント

- ・ 企業理念『すべての人に働くよろこびを』のもと、多様な求職者に対して親身な就業支援と教育訓練を提供している
- ・ 地方自治体向けBPO事業を主力としつつ、2028年3月期売上47,066百万円達成に向けた中期経営計画を推進中
- ・ AI活用によるDX化とダイバーシティ&インクルージョン推進により、持続可能な社会実現に貢献する企業文化を醸成

証券コード 6070

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
446億円営業利益率
8.7%財務健康度
75点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 43.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
530万円

サービス業内 350位/524社

平均年齢
38.3歳

サービス業内 271位/527社

平均勤続
4.4年

サービス業内 367位/527社

女性管理職
14.1%

サービス業内 236位/371社

男性育休
77.3%

サービス業内 154位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

